

『高等学校国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年7月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1ホーム

(3) 学年・学級 第1学年1組(40名)

使用教科書 改訂版高等学校言語文化(数研出版)P.54～P.60

(4) 単 元 名 現代にも生きる教え 徒然草

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』や『十訓抄』などの説話集を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。ほとんどの生徒が中学校で序段について学習しており、『徒然草』について一定の理解がある。

【単元のねらい】

- ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。
- ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、落ち着いて学習に取り組むことができている。古典特有のリズムを感じながら音読することはできているが、古典を苦手とする生徒が多く、歴史的仮名遣いを理解して正しく音読できる生徒は6割程度である。また、自分の意見や考えを積極的に表現することに慣れていない生徒もいる。

(6) 指導計画(全 4時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ○随筆の特徴と『徒然草』の文学史的な意義や作者の概略について、理解する。 【「つれづれなるままに」(P54)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作者のものの見方や感じ方について、叙述をもとに的確に捉える。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間) 本時	【「神無月のころ」(P55)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間)	【「雪のおもしろう降りたりし朝」(P60)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第四次 (1時間)	○『徒然草』の中から、共感したことや自分にとって納得できる意見を探し、具体的な事例と関連付けて発表し合うことで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	一斉 個別 ペア グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『高等学校国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年7月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1ホーム

(3) 学年・学級 第1学年1組(40名)

使用教科書 改訂版高等学校言語文化(数研出版)P.54～P.60

(4) 単 元 名 現代にも生きる教え 徒然草

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』や『十訓抄』などの説話集を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。ほとんどの生徒が中学校で序段について学習しており、『徒然草』について一定の理解がある。

【単元のねらい】

- ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。
- ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、落ち着いて学習に取り組むことができている。古典特有のリズムを感じながら音読することはできているが、古典を苦手とする生徒が多く、歴史的仮名遣いを理解して正しく音読できる生徒は6割程度である。また、自分の意見や考えを積極的に表現することに慣れていない生徒もいる。

(6) 指導計画(全 4時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ○随筆の特徴と『徒然草』の文学史的な意義や作者の概略について、理解する。 【「つれづれなるままに」(P54)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作者のものの見方や感じ方について、叙述をもとに的確に捉える。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	【「神無月のころ」(P55)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間) 本時	【「雪のおもしろう降りたりし朝」(P60)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第四次 (1時間)	○『徒然草』の中から、共感したことや自分にとって納得できる意見を探し、具体的な事例と関連付けて発表し合うことで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	一斉 個別 ペア グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『高等学校国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年7月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1ホーム

(3) 学年・学級 第1学年1組(40名)

使用教科書 探求 言語文化[改訂版](桐原書店)P.66～P.71

(4) 単 元 名 随筆と日記 枕草子

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』や『十訓抄』などの説話集を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。ほとんどの生徒が中学校において『枕草子』を学習しており、『枕草子』について一定の理解がある。

【単元のねらい】

- ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。
- ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、落ち着いて学習に取り組むことができている。古典特有のリズムを感じながら音読することはできているが、古典を苦手とする生徒が多く、歴史的仮名遣いを理解して正しく音読できる生徒は6割程度である。また、古典に対して学習意欲の低い生徒もいる。

(6) 指導計画(全 4時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ○随筆の特徴と『枕草子』の文学史的な意義や作者の概略について、理解する。 【「春はあけぼの」(P66)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作者のものの見方や感じ方について、叙述をもとに的確に捉える。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間) 本時	【「ありがたきもの」(P68)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間)	【「九月ばかり」(P70)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第四次 (1時間)	○『枕草子』の中から、共感したことや自分にとって納得できる意見を探し、具体的な事例と関連付けて発表し合うことで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	一斉 個別 ペア グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。